

SDGs 未来都市東広島推進パートナー宣言書

企業・団体名 ぼうだ建築設計事務所
 代表者名 坊田 浩之

東広島市における活動等を通じて、次のとおりSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献することを宣言します。

1 関係するSDGs目標（ゴール）（番号に○を付けてください。複数選択可）

①		貧困をなくそう	②		飢餓をゼロに
③		すべての人に健康と福祉を	④		質の高い教育をみんなに
⑤		ジェンダー平等を実現しよう	⑥		安全な水とトイレを世界中に
⑦		エネルギーをみんなに そしてクリーンに	⑧		働きがいも経済成長も
⑨		産業と技術革新の基盤を つくろう	⑩		人や国の不平等をなくそう
⑪		住み続けられるまちづくりを	⑫		つくる責任 つかう責任
⑬		気候変動に具体的な対策を	⑭		海の豊かさを守ろう
⑮		陸の豊かさも守ろう	⑯		平和と公正をすべての人に
⑰		パートナーシップで目標を 達成しよう			

2 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献する内容

三次市に拠点を置く建築事務所です。建築を通じて日本の木材の良さを理解してもらうために、三次市に限らず東広島市、その他の市町でも活動をしています。住宅建築においては、構造部分だけでなく天井・壁・床などに国産材を使用し、その良さを体感してもらえらる家づくり、空間づくりに努めています。また学校や幼稚園、保育所でも、家具など、より身近に木の良さを感じてもらえるように子どもたちと一緒に作製をしています。広島県の人工林（日本国土の3割以上の面積割以上の面積）は、計画的に管理しないと荒廃してしまい、森の様々な機能（水の保全、光合成等）や、品質（材料として）を低下させてしまう危機にあります。輸入材は、運送コスト・環境負荷が大きい、なども問題があるため、流通・販売整備事業（三次共販所の選木機建屋工事）などの工事などで、効率化によるコスト削減等の事業を行ってきました。広島県内においても古民家を再生し、再び人が住まいとしたり、集まる空間に作り直したり、古い道具なども修理・補修し再利用する活動を行ってきました。東広島市内の幼稚園では、園が保有する森の自然活動において、園児に木や森の説明をし、様々な建築構造物を作る材料であるということを知らせる活動をしてきました。その結果、子どもたちは、木に関する知識をもち、木の種類や年輪などを意識するようになりました。幼児と一緒に家具や遊具だけでなく、箸をつくったりして、積極的にSDGsの意識を高める廃材利用の活動も行いました。

※ 持続可能な開発目標（SDG s）の達成に向けて、どのような活動を実施するか、また、その活動が1で選択したゴールの達成にどう貢献するかなどについて記載してください。